

# 巻 頭 言

## 紀要第 14 巻発刊によせて

埼玉医科大学看護学科紀要第 14 巻として、報告 1 編、特別企画 6 編、合計 7 編を掲載し、発刊の運びとなりました。

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、授業ができない状況から始まり、遠隔授業の開始を経て、授業や実習の再調整、対面授業の導入、感染症予防のための登校ルールの作成や日々の感染対策等と、休む間もなく走り続けた 1 年でした。通常であれば計画通りに進むはずの学科の運営も、たびたび変更を余儀なくされ、論文を作成する時間を捻出するのは、容易なことではなかったと思います。今回の感染拡大を百年に 1 度の世界的大災害ととらえています。これを乗り越えて前に進むためにも、教員が果敢にそれに立ち向かい、工夫をしてよりよい教育をめざしたことを記録に残すことが、後世の参考になるかもしれないと考え、特別企画として本学科の教育的取り組みについて原稿を募集いたしました。今年度の紀要は、研究活動が思い通りにはいかなかったことから、研究報告が 1 編となり、例年に比較して少し寂しくなりましたが、この特別企画には 6 編の原稿をいただきました。コロナ禍の中、投稿者の皆様は、多くの困難があったと思いますが、それにもかかわらず論文や原稿を作成していただいたことに、心より敬意を表します。また、査読者の皆様、紀要委員の皆様には、お時間のない中でもより質の高い内容、分かりやすい文章となるよう丁寧に原稿をみていただき、誠にありがとうございました。そしてこの紀要をお読みいただいている皆様、本号発刊に関わる全ての方に、深謝申し上げます。

今年度は確かに感染症に翻弄されました。しかし、その中でも学んだことがありました。それらを糧に、次年度は掲載論文数も増え、質の高い論文が掲載できることを期待しています。本号をお手に取っていただき、お気づきのことがあれば、遠慮なく委員にお知らせください。さらに良い内容となるよう、努めてまいりたいと存じます。

令和 3 年 3 月

埼玉医科大学保健医療学部看護学科

学科長 千田 みゆき